

相談例 1

●妻が妊娠した！どうしよう！

・私は研究員で、妻は大学院生。収入も安定してない中、妻が妊娠した。正直いって実感はない。だけど、そんなこと妻には言えないし、私にできることなどないと思っていたら、妻と一緒に考えろと言う。だけど、こちらをはじめでのことでよく分からない。チラシを見て、とりあえず来たのですが・・・

↓

二人だけの生活から突然環境が変わることが分かり、気づくことも多いでしょう。良くも悪くも子どもができれば生活は一転します。注意・心構えをすべきポイントやコミュニケーションの取り方、父としての準備についてなど、お応えします。子育てにも参加したい！育休取りたい！と考えている方も、大歓迎いたします。子育て情報なども提供いたします。

相談例 2

●子育て・家事に関すること

・今まで当たり前のように妻に任せていた。妻が入院して、近くに親戚もおらず、助けもない。仕事は休めない。八方塞がりになっている。

↓

サポートは身内だけでなく、公的なものも沢山あります。ギリギリになるまで、一人で解決しようとせずに、突然のことは早めに気軽に、ご相談ください。

相談例 3

●身近な女性研究者に関すること

・部下に女性のポスドクがいる。彼女には小さな子供がいて、傍目にも研究との両立は大変そうに見える。先日も、保育園から呼び出されていると言って途中で帰った。元々、いい加減な人ではないけれど、お母さん業は大変なのかもしれないが、そういうことが重なると、「やはり女性は」と考えることもある。他のメンバーにも、そういった空気は感じられる。それでも、女性研究者は大事にしろと言われるのかもしれないが、腫れものにさわるように扱うのもどうかと思っている。だとすれば、どんな対応がよいのか？

↓

男性研究者にとって「理解しがたいけど、上手くやっていかないといけない」という場面で、「相手の考えていることがよく分からない」という事態はしばしばあります。研究室で管理的なポジションにいる場合は特に、よいコミュニケーションがとれるように支援することは、女性研究者支援の観点からも、重要です。日頃、「何故、女性研究者がそういった行動になるのか」を理解することで、よりよい関係を築くこともできます。また、無意識でしている行動がハラズメントと受け取られないように注意するポイントなど、新たな気づきも提供いたします。研究室内の多様性を活かすきっかけにしていたければ幸いです。

相談例 4

●母親が倒れた。介護が必要だと言われた。

・突然、自分の母親が倒れた。一命をとりとめたが、今後、介護が必要だという。妻も研究者で、お互いの職場が遠方ために、これまで平日は、自分の実家に寝泊まりし、週末に妻と子供のいる家に帰っていた。母の入院した病院で、「退院したら介護が必要だから、同居を考えた方がいいでしょう。」と言われた。父は他界しており、弟はいるが、実家から離れて暮らしている。介護と言われても、何も分かっていない。

↓

家庭にある悩みは、子育てにかかわることだけではなく、キャリアを積んで安定した時に「介護」をしなければならなくなり困ったという方もいます。予想をしていなかったことで、何かから考えていいのかも分からないという方もいらっしゃるでしょう。直ぐに解決できる問題ではありませんが、役に立つ情報が得られる事もあります。是非ご相談ください。

悩みは、人それぞれです。「家庭面での相談だよな、試しに聞いてみるか。」という動機だけで十分です。あなたの課題を一緒に解決できるかどうか、まずはメール(電話)してみてください。

※相談者のプライバシーは厳守いたします。

《相談の流れ》

Step1

- ・E-mailまたは電話でご連絡ください。ご連絡の際、下記をお知らせください。
- ・お名前・ご所属
- ・相談内容(短文で結構です)
例:子どものことについて
- ・ご希望の相談日時
例:10日か11日の13時

Step2

- ・予約相談日時のご返信をします。
(平日は当日、休日は翌開室日にお返事します)

Step3

- ・予約時間に女性研究者支援相談室にお越しください。
お話を聞きし、対応いたします。

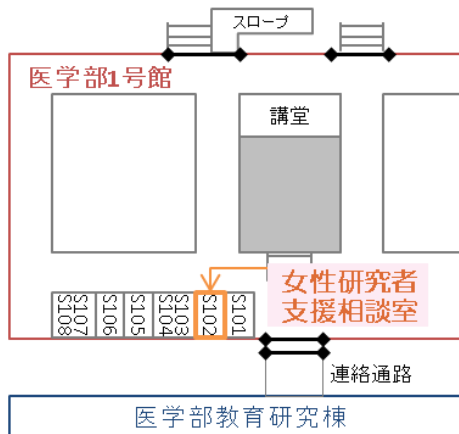
Step4

- ・相談に応じ、情報提供、次回、相談の手続きをいたします。

男性研究者も WLB 相談承ります！

女性研究者支援相談室では、女性研究者と同じように、生活と研究の両立に悩んでいる男性研究者のご相談にも、女性研究者支援相談員が、お応えしています。

たとえば、「男でも、育休取れるって言うけど、どうやれば取れるのだろう?」「部下が妊娠したらしい。何から対応する?」研究継続する中で、無視できない生活面に関わる悩み、自分で解決策を調べる時間が勿体ない。知らないことが多すぎる。そんな課題や対応に困っている時など、お気軽にお話し下さい。



専門相談員：山口 喜志子

Tel : 03-5841-1707(内線 21707)

Email : AdviseWR.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://kyodo-sankaku.u-tokyo.ac.jp/>

男女共同参画室
Office for Gender Equality



女性研究者支援 相談室

日ごろ、少し自分を悩ます問題「気になっているけれど、こんな相談できる人はいない。我慢すればなんとかなるかな」と無理していませんか?

女性研究者支援相談室(本郷)

開室：平日(月曜～金曜) 10:00～17:00

↑面談相談はご予約ください。

時間外の相談も調整いたします。

場所：医学部1号館 1階 S102室

《日時変更される時があります。HPをご確認ください》

<http://kyodo-sankaku.u-tokyo.ac.jp/advising/>

